

## —— 明るい未来に向けて、 私たち一人ひとりが主役

菰野町の未来を思い描くには、このまち独自の過去からの積み重ねを大切にすることが必要です。鈴鹿山麓に静かな田園文化を築きながら栄えてきた長い歴史の中で先人たちが培ってきたものであり、まちの特長ともなっているものとして、固有の自然環境や農業、そして、人と人との温かく深いつながりのある風土があります。おいしい空気やおいしい水、都会とは異なる暮らしやすさに起因する「やすらぎ」や「落ち着き」、そして風土が生み出す「支えあい」の心を土台として、それらを発展させながら、未来に向けて取り組んでいくことが大切です。

菰野町は、昭和 32（1957）年に現在の菰野町となって以来、初めてとなる人口減少局面を迎えています。進む少子化、高齢化の中で、誰もが先行きの見えない将来に対する漠然とした不安を持っており、感染症の発生などはこうした不安に拍車をかけています。このような時こそ大切なのは、他人を思いやり、地域を大切に、私たち一人ひとりがまちづくりに参加していくことなのではないでしょうか。

私たち一人ひとりがまちづくりの主役として、こうした思いを胸に、少しずつ役割を担うことでお互い豊かに、幸せになることを目指しませんか。

明るい未来に向けて、私たち一人ひとりが主役となり、心を一つにこれからの菰野町をつくっていきましょう。

### ～安心して住み続けられる菰野町であり続けるために～

「まえがき」でも触れた町民アンケートでは、多くの町民が菰野町に住み続けたいという結果が出ています。この状態を続けていくには、町民が高い関心を示す生活の安全安心などとともに、菰野町が財政的にも安心できる状態であり続けることが必要です。また、「安心して住み続けられる菰野町であり続けるために」には、「まえがき」でも触れたSDGsの理念も込められています。